|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 様式第１-２ | ※申請番号 | 20 | - |  |

　年　　月　　日

京都産業大学　学長　殿

遺伝子組換え実験における第二種使用等拡散防止措置（機関実験・届出実験）確認申請書

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 申請者 | 所属 |  |
| 職名 |  |
| 氏名 |  | ㊞ |
| 内線 |  |

遺伝子組換え生物等の第二種使用等をする間に執る拡散防止措置の確認を受けるにあたり、遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律第13条第の規定により、次のとおり申請します。

|  |  |
| --- | --- |
| 研究課題名 |  |
| 経費 | 文科省科研費　　　その他（　　　　　　　　　　　　） |
| 実験実施期間（５年以内） | 　　　年　　月　　日　～　　　年　　月　　日 |
| 第二種使用等をする場所 | 名称 | 京都産業大学　　　その他（　　　　　　　　　　　　） |
| 所在地 | 〒603-8555　京都市北区上賀茂本山　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 事務連絡先 | 実験責任者 | 所属・職名 |  |
| 氏名 |  |
| 連絡先 | TEL: |
| E-mail: |
| その他 |
| 実験従事者 | 別紙１のとおり |
| 実験の種類、目的及び概要 | 種類（該当するものを囲む） | １．微生物使用実験　　　　４．植物等使用実験２．大量培養実験　　　　　　(１)植物作成実験３．動物使用実験　　　　　　(２)植物接種実験(１)動物作成実験　　　　　(３)きのこ作成実験(２)動物接種実験　　　　５．細胞融合実験 |
| 目的(簡潔に記入すること) |  |
| 概要 |  |
| その他参考になる事項 |  |

（１）クローン化あるいは導入予定の核酸に関する情報

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 対象区分 | 遺伝子の名称等 | 核酸供与体（生物の和名及び学名） | 別表第２※における区分あるいは動物・植物の区分 | 核酸の種類（ゲノムDNA, cDNA等） | 同定・未同定の区別 | 特記事項 |
| Ａ |  |  |  |  |  |  |
| Ｂ |  |  |  |  |  |  |
| Ｃ |  |  |  |  |  |  |
| Ｄ |  |  |  |  |  |  |
| Ｅ |  |  |  |  |  |  |
| Ｆ |  |  |  |  |  |  |

※　核酸供与体が特定されない場合や多数の遺伝子を用いる場合等においては、必要に応じて別紙に詳細に記載

※　各宿主にとって外来遺伝子となるものについては、ベクター上に既に存在する遺伝子及び機能遺伝子断片（プロモーターやエンハンサー等）の全てを記載（市販のウイルスベクター等についても、宿主にとって外来遺伝子となるものを全て記載）

※　「研究開発等に係る遺伝子組換え生物等の第二種使用等に当たって執るべき拡散防止措置等を定める省令の規定に基づき認定宿主ベクター系等を定める件」（平成16年文部科学省告示第７号）の別表第２を参照

　（http://www.lifescience.mext.go.jp/files/pdf/n648\_02.pdf）

（２）宿主－ベクター系

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 対象区分 | 宿　主（学名・系統名等） | ベクター（名称や由来等） | 認定・未認定の別（認定宿主－ベクター系の場合にはその名称と別表第１※における区分） | 特記事項 |
| ア |  |  |  |  |
| イ |  |  |  |  |
| ウ |  |  |  |  |
| エ |  |  |  |  |
| オ |  |  |  |  |

※　宿主・ベクター系については必要に応じて別紙に詳細に記載。

※　「平成16年文部科学省告示第７号」の別表第１を参照（http://www.lifescience.mext.go.jp/files/pdf/n648\_02.pdf）。

（３）実験ごとの（１）と（２）の組合せ

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 実験番号 | （１）における対象区分 | （２）における対象区分 | 物理的封じ込めレベル（拡散防止措置）（該当するものを囲み文字にして下さい） |
| Ⅰ |  |  | Ｐ１ Ｐ２, Ｐ３, Ｐ１Ａ, Ｐ２Ａ, Ｐ３Ａ，特定飼育区画, Ｐ１Ｐ, Ｐ２Ｐ 特定網室ＬＳＣ, ＬＳ１, ＬＳ２, その他 |
| Ⅱ |  |  | Ｐ１ Ｐ２, Ｐ３, Ｐ１Ａ, Ｐ２Ａ, Ｐ３Ａ，特定飼育区画, Ｐ１Ｐ, Ｐ２Ｐ 特定網室ＬＳＣ, ＬＳ１, ＬＳ２, その他 |
| Ⅲ |  |  | Ｐ１ Ｐ２, Ｐ３, Ｐ１Ａ, Ｐ２Ａ, Ｐ３Ａ，特定飼育区画, Ｐ１Ｐ, Ｐ２Ｐ 特定網室ＬＳＣ, ＬＳ１, ＬＳ２, その他 |
| Ⅳ |  |  | Ｐ１ Ｐ２, Ｐ３, Ｐ１Ａ, Ｐ２Ａ, Ｐ３Ａ，特定飼育区画, Ｐ１Ｐ, Ｐ２Ｐ 特定網室ＬＳＣ, ＬＳ１, ＬＳ２, その他 |

|  |  |
| --- | --- |
| 施設等の概要 |  |
| 遺伝子組換え生物等を不活化するための措置 |  |
| 委員会記入欄 | 審査日： 年 月 日**承認**・**非承認**（理由： ） |
| 学長承認欄 | 承認日： 年 月 日　　　　学　長　　　大城　光正　　　㊞ |

別紙１

実　験　従　事　者

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| № | 氏　　　名 | 所属・職名 | 実験経験の有無 |
| 病原性微生物取扱 | 宿主取扱 | 組換えＤＮＡ実験 |
| １ |  |  | 有　・　無 | 有　・　無 | 有　・　無 |
| ２ |  |  | 有　・　無 | 有　・　無 | 有　・　無 |
| ３ |  |  | 有　・　無 | 有　・　無 | 有　・　無 |
| ４ |  |  | 有　・　無 | 有　・　無 | 有　・　無 |
| ５ |  |  | 有　・　無 | 有　・　無 | 有　・　無 |
| ６ |  |  | 有　・　無 | 有　・　無 | 有　・　無 |
| ７ |  |  | 有　・　無 | 有　・　無 | 有　・　無 |
| ８ |  |  | 有　・　無 | 有　・　無 | 有　・　無 |
| ９ |  |  | 有　・　無 | 有　・　無 | 有　・　無 |
| 10 |  |  | 有　・　無 | 有　・　無 | 有　・　無 |
| 11 |  |  | 有　・　無 | 有　・　無 | 有　・　無 |
| 12 |  |  | 有　・　無 | 有　・　無 | 有　・　無 |
| 13 |  |  | 有　・　無 | 有　・　無 | 有　・　無 |
| 14 |  |  | 有　・　無 | 有　・　無 | 有　・　無 |
| 15 |  |  | 有　・　無 | 有　・　無 | 有　・　無 |
| 16 |  |  | 有　・　無 | 有　・　無 | 有　・　無 |
| 17 |  |  | 有　・　無 | 有　・　無 | 有　・　無 |
| 18 |  |  | 有　・　無 | 有　・　無 | 有　・　無 |
| 19 |  |  | 有　・　無 | 有　・　無 | 有　・　無 |
| 20 |  |  | 有　・　無 | 有　・　無 | 有　・　無 |

［備考］

１　氏名を記載し、押印して下さい。

２　「研究課題名」については、組換えDNA実験確認申請書（様式第１-１）に記した課題名を記入して下さい。

３　「経費」については、文科省科研費とその他に区分して下さい。

４　実施期間については５年以内で記入して下さい。

５　「名称及び所在地」については、京都産業大学とその他に区分して下さい。

６　「実験の責任者」については、当該第二種使用等をする場所において当該第二種使用等を直接管理する者について記載して下さい。また、実験の責任者以外に事務連絡先がある場合に限り、当該事務連絡先について（その他の連絡先）として記載して下さい。

７　実験従事者については別紙１に記載して下さい。

８　「種類」については、当該第二種使用等が該当するすべての項目を選んで下さい。「目的」、「概要」については、遺伝子組換え生物と研究課題の関連がわかるように簡潔に記入して下さい。

９　「クローン化あるいは導入予定の核酸に関する情報」については、

(1) 遺伝子の名称等

(2) 核酸供与体（生物の和名及び学名）

(3) 実験分類の区分における微生物等は「研究開発等に係る遺伝子組換え生物等の第二種使用等に当たって執るべき拡散防止措置等を定める省令の規定に基づき認定宿主ベクター系等を定める件」（平成16年文部科学省告示第７号）の別表第２を参照して下さい。

(4) 種類（ゲノムDNA、cDNA、合成核酸等）を記入して下さい。

(5) 同定済の場合はDDBJ等のアクセッションナンバーも記入して下さい。

10　「宿主・ベクター系の情報」については、当該第二種使用等に係る遺伝子組換え生物等の宿主、ベクターに関し、表に掲げる項目について記載して下さい。なお特記事項には、薬剤耐性遺伝子その他のマーカー遺伝子の名称、病原性や有害物質の産生性の有無について記載して下さい。

11　実験ごとの（1）と（2）の組合せについては、実験ごとに（1）の対象区分（Aなど）、（2）の対象区分（アなど）を記入し、当該第二種使用等をする間に執る拡散防止措置の区分をすべて記載して下さい。

12　「施設等の概要」については、選択した拡散防止措置に関し、当該第二種使用等に用いるすべての実験室、飼育区画及び特定網室について記載して下さい。

13　「遺伝子組換え生物等を不活化するための措置」については、当該第二種使用等をする間に執る拡散防止措置に関し、組換え体等を含む廃棄物並びに組換え体等が付着した機器及び器具について、組換え体等を不活化するための措置を記載して下さい。

14　「その他」については、次に掲げる項目について記載して下さい。

(1) 動物を飼育する施設等の管理者による確認状況（動物使用実験の場合に限る。）

(2) 事故時等緊急時における対処方法（大量培養実験の場合に限る。）

15　※印の欄には、記載しないで下さい。

16　様式中に書ききれないときは、「別紙のとおり」と記載し、別紙に記載することができる。また、関連する文献がある場合には、様式中に「参考文献」と記載し、当該文献の写しを添付して下さい。